

フレンドリー

F R I E N D L Y



大垣市の新たなフレンドリーシティ アメリカ オレゴン州 ビーバートン市・ユージーン市



小川市長とデニー・ドイル市長
(ビーバートン市長室にて)



小川市長とキティ・ピアシー市長
(ユージーン市庁舎にて)

Beaverton
OREGON



ビーバートン市警察訪問



小川市長、高校生と日本語授業で
(ユージーン市のシェルドン高校)

アメリカ・オレゴン州のビーバートン市・ユージーン市の2都市が、大垣市のフレンドリーシティ(友情都市)に加わりました。小川敏大垣市長を団長とする7名の訪問団が平成27年11月6日(金)～13日(金)の8日間で両都市を訪問し、両都市の市長との面談でフレンドリーシティ交流の開始を正式に確認し、日本語教育が行われている学校訪問、企業視察などを行いました。フレンドリーシティ交流の開始を受け、大垣国際交流協会では、平成28年度から両都市への高校生研修派遣事業を予定しております。今後も、両都市を含めたフレンドリーシティとの交流を推進していきます。(ビーバートン市・ユージーン市の紹介はP.1-2をご覧ください)

No.82

2016

MARCH

大垣市とビーバートン市・ユージーン市とのフレンドリーシティ交流

＜交流の契機＞

大垣市で活動する「国際交流団体WING（ウイング）」が、平成3年からビーバートン市で活動する「オレゴン異文化交流協会」の「オレゴン州高校生訪問団」の受入を毎年行ってきました。この訪問団は主にビーバートン市とユージーン市の高校生で構成され、これまでに数多くの両都市の高校生が大垣市でホームステイや学校訪問などを通して交流してきました。

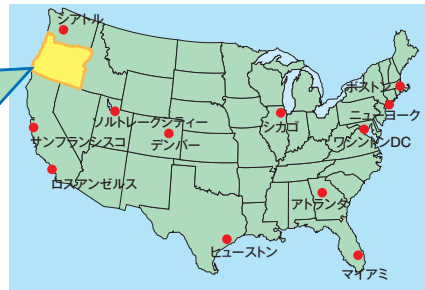
こうした長年にわたる両都市との交流から、昨年11月に大垣市長が両市長を表敬訪問し、フレンドリーシティ交流を開始しました。

＜どこにあるの？＞

オレゴン州は、アメリカの西海岸に位置し、南はカリフォルニア州、北はワシントン州に囲まれています。

ビーバートン市は、オレゴン州最大都市ポートランドの西12km。

ユージーン市は、ポートランドの南175kmに位置しています。



ビーバートン市(Beaverton)

人 口	約9万人(大垣市の約2/3)
面 積	50.7km ² (大垣市の約1/4)
特 徴	州最大都市ポートランドに近く、商業地区へのアクセスがよく、スポーツメーカーナイキ本社やIT関連企業が立地し、産業が盛んな一方、自然豊かで、暮らしやすいまちとして知られている。 ビーバートンの語源はこの地に定住した集落の近郊に、ビーバーが作ったダム(大きな水地帯)が存在したことに由来したとされている。



ビーバートン市庁舎



街中を走る路面電車。
市庁舎の前に駅があります。



街路樹がきれいに植えてある市街地



釣りが楽しめる溪谷

日本語教育



日本語教室の入口

日本語教育プログラムをもつ高校が3校あり、日本人教員が指導にあたる学校もあります。この写真は、ビーバートン市内にあるサンセット高校の日本語の授業の様子です。アメリカでは教科ごとに生徒が教室を移動するため、日本語の教室は日本語で書かれたものがたくさん掲示されています。

アメリカオレゴン州ビーバートン市・ユージーン市訪問して 大垣国際交流協会 事務局長 社本 久夫

アメリカオレゴン州は、日本の約2/3の面積（本州と四国を合わせたくらい）に、約400万人が住んでいます。今回訪れたオレゴン州北西部は、太平洋に面した雄大な海岸線と富士山と同じ独立峰のマウントフッド（3,426m）をはじめ山々とコロンビア川が創り出した美しい景観など、多様で自然豊かな場所でした。ビーバートン市は、オレゴン州の最大都市（約60万人）であるポートランド市の近郊都市圏の一角（300万人通勤圏）として、ライトレール（近郊、路面電車の一体運用）や高速道路（フリーウェイ）でポートランド市と20分ほどで結ばれているベッドタウンです。一方、ユージーン市は、内陸部の落ち着いた州立のオレゴン大学がある学園都市で、中心部に高いビルは少なく、緑豊かな住宅街を形成し、郊外部に田園風景が広がっていました。

迎えていただいた、両都市の関係者やオレゴン異文化交流協会（OIA）の人たちは、大垣の国際交流団体WING（ウイング）が20数年培った交流を体現される、大変フレンドリーな方々で、温かい歓迎を受けました。両都市の日本語教育をしている高校訪問では、どの高校でも敷地の広さや校舎の大きさにびっくりしました。アメリカンフットボール場、陸上競技場、テニスコートなどの専用競技施設があり、劇場の併設や生徒用ロッカーが連なる長い廊下の高校もありました。移民国家である米国で学ぶ外国語として、スペイン語、フランス語、ドイツ語に続いて日本語学習も盛んであり、大衆文化としてのポップカルチャー（漫画、アニメのテレビ番組など）から日本語に興味を持つことが増加しているようです。日本語の授業では、日本、大垣へ行きたいという多くの生徒たちに会いました。

23,000人以上の学生が学ぶ1876年設立の州立大学。日本からの留学生も学んでいます。

ユージーン市(Eugene)

人口	約16万人(大垣市とほぼ同じ)
面積	114.6km ² (大垣市の約半分)
特徴	ポートランドに次ぎ、オレゴン州第2の都市。教育環境に恵まれた学園都市で、市内にはオレゴン大学のほかカレッジなども所在している。 日本語教育プログラムをもつ学校が複数ある。

オレゴン大学正面



ユージーン市庁舎



ユージーン駅



赤レンガづくりのオレゴン大学



ユージーン市の市街地



2021年の世界陸上競技選手権大会は、ユージーン市で開催



国際大会が行われる陸上競技施設

日本語教育



公立小学校のユージーン学園（友人学園）では、日本語イマージョンプログラム（日本語に浸す教育）が行われています。ほかにも、日本語教育プログラムをもつ高校が5校あります。

第11回ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入

ドイツ・シュツットガルト市から高校生13名、引率者2名で構成される訪問団15名が大垣市を訪問されました。ホームステイ、学校訪問、日本文化体験や市民のみなさんとの交流を通して、日本の社会や文化、生活や習慣などに直接触れることができました。

日程表

9/30	京都・奈良見学後、ようこそ大垣へ!ホストファミリーと対面
10/1	奥の細道むすびの地記念館、温泉体験、歓迎会
10/2	大垣市表敬訪問、墨俣小学校、西部中学校
10/3・4	ホームステイプログラム
10/5	大垣城、郷土館、守屋多々志美術館、柘作り体験、日本文化体験(茶道・華道)、大垣図書館訪問
10/6	そばうち体験、岐阜市訪問(岐阜城、岐阜市歴史博物館)
10/7	和菓子作り体験、大垣日本大学高校訪問
10/8	ホストファミリーとお別れ、大垣出発、名古屋訪問
10/9	中部国際空港から帰国



大垣市表敬訪問(大垣市役所にて市長、議長と一緒に)
今回訪問された高校生は、1~3年間ほど日本語を勉強しており、一人ずつ日本語で自己紹介や日本の印象などお話しました。



墨俣小学校

3年生の英語の授業に参加。英語で買い物ゲームをしました。その後、6年生の教室と一緒に給食を食べながら、日本語で好きなアニメの話など楽しくお話ができました。



西部中学校

全校生徒交流会のあと、剣道、柔道、なぎなた部のみなさんに教えてもらいながら、体験しました。



大垣日大高校

書道部のみなさんの指導による書道体験。「初めての書道で難しかったけど、親切に教えてもらい、楽しかったです。」



和菓子作り体験

簡単そうに見えたけど、意外と難しかったです。



茶道・華道体験

(スイトピアセンターにて)



教えてもらいながら、上手にできました。



第11回ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団歓迎会

(スイトピアセンターにて)

ホストファミリー15家庭のみなさんら約80名が参加しました。シュツットガルト市学生訪問団のみなさんによる日本語でのシュツットガルト市の紹介、社交ダンスなどのダンスの披露もあり、私たちもドイツについて知ることができました。

ドイツの有名なお祭り
(オクトーバーフェスト)
で踊るダンスを披露



かわいいけど、
すこし怖かったよ。

奈良公園

大垣城

お城に展示してある鎧や刀に興味津々。大垣の歴史や関ヶ原の戦いなどを学びました。



岐阜市歴史博物館

戦国時代の着物でポーズ!!

国際交流フェスティバル

11/1 元気ハツラツ市にて

毎月第1日曜日に大垣駅前通りで開催されている「元気ハツラツ市」に初めて参加し、当協会のPR TENTとメインステージでの発表を行いました。ブラジル人の多い地域であることにちなみ、TENTではブラジルコーヒーの試飲も行い、多くの方が立ち寄ってくださいました。ステージ発表では、地域在住外国人によるネパール・ベトナムの紹介イベントを行いました。

ネパールの
名所を紹介
するラグさん



ネパール出身のラグさんからは、ネパールのエベレスト山やボカラ地区など観光名所の紹介のほか、4月におこった地震の被害・復興に向けた活動の紹介がありました。

ボランティアを募集
しています!!



国際交流協会の活動を紹介しました。



ベトナム出身の技能実習生の皆さんによる、民族衣装「アオザイ」をまとってのベトナム舞踊の披露には、多くの方から拍手をいただきました。

国際理解ワークショップ～地球の食卓～

(11/15 スイトピアセンターにて)



私たちの生活にとって身近な「食」を通して、世界のことを学ぶワークショップ「地球の食卓」を実施しました(中学生ほか11名参加)。アメリカ、エクアドル、クエートの3ヶ国の食事について、1週間の食材を通して特徴をみんなで考えました。また、ある日の学校給食の日本食材の自給率から、私たちの食事が海外から輸入して成り立っていて、食を通して世界とつながっていることを学びました。また、JICAの青年海外協力隊員としてアフリカのマラウイ共和国で生活された講師の方から、電気が通っていないなど便利ではないけれど、助け合いながら幸せに暮らしている人々の生活を聞きました。



考えて発表しました

世界の人々はどんな食事をしているのだろう？
3ヶ国の食材の特徴を考えました。



日本のカロリーベース食料自給率は39%ですが、この給食は、ご飯やもやし、さば、ほうれんそうなどの食材自給率が高く、72%でした。

ある日の給食の日本食材の自給率は？
それぞれの食材について考えました。

＜こんな意見がありました＞



・インスタントフードと肉が多い(アメリカ)



・いろんな文字が書いてあり、輸入食品が多い(クエート)



・いもが多く、肉が少ない(エクアドル)



JICAの青木さんからマラウイ(アフリカ)での生活体験談を聞きました。

国際交流ボランティア研修講座

日本語指導ボランティア講座



外国人への日本語の教え方のポイントや教材の使い方などを学びました。

稲沢国際友好協会との交流会

(10/24 スイトピアセンターにて)



両協会のボランティアらが参加し、活動の紹介、参加者同士の交流を楽しみました。

災害時外国人支援ボランティア研修

(11/29 岐阜経済大学にて)

災害が起こった時に、日本語が十分わからない外国人が直面する課題とボランティアの役割について、災害時の外国人支援活動の拠点となる「災害時言語支援センター」の開設や運営を体験し、今後の課題を学びました。また、外国人市民の人が、周辺道路を歩いて、災害時に気を付けること、災害時に役に立つものなどを学びました。

講師：NPO法人多文化共生ナビゲーター全国協議会 高木和彦さん、高橋伸行さん

主催：(公財)岐阜県国際交流センター

共催：大垣市、(公財)大垣国際交流協会、岐阜経済大学

参加者：24名



災害情報を翻訳するために、たくさんの情報から翻訳するべきものを選び出す訓練。



避難所巡回のための地図を作成する訓練。



避難所で外国人被災者に聞き取りをする訓練。

平成27年度を振り返って

【国際交流・国際理解事業】

《フレンドリーシティ派遣事業》

- ＊ベルギー・ナミュール市中学生研修派遣 中止
- ＊中国・邯鄲市小・中学生研修派遣 中止

《フレンドリーシティ受入事業》

- ＊ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入
(9/30～10/9 (10日間)) 高校生13名、引率者2名
- ＊中国・邯鄲市学生訪問団受入 中止

《地域国際交流事業》

- ＊子ども外国語読み聞かせ講座 (6/7) 参加者：110名
- ＊子ども地球探検研修講座 (8/9) 参加者：8名
- ＊子ども国際理解ワークショップ (11/15)
参加者：11名

《国際交流ボランティア活動推進事業》

- ＊日本語指導ボランティア講座
1期 (5/14～6/18 【全6回】) 受講者：23名
2期 (10/16～11/20 【全6回】) 受講者：31名
講師：加藤 由紀子氏 (岐阜経済大学教授)
- ＊稲沢国際友好協会との交流会 (10/24) 参加者：23名
- ＊災害時外国人支援ボランティア研修 (11/29) 参加者：24名
- ＊ボランティアの集い (3/19)



《外国語基礎会話講座》

- ＊英語基礎会話講座 (10/9～11/27 【全8回】)
講師：加藤 ミリアム氏 (英会話講師)
受講者：19名
- ＊ポルトガル語基礎会話講座 (10/19～12/14
【全8回】)
講師：丸井 合氏 (学校法人H I R O学園教師)
受講者：5名
- ＊中国語基礎会話講座 (1/9～3/5 【全8回】)
講師：早野 嘉秀氏 (中国語講師) 受講者：13名
- ＊韓国語基礎会話講座 (1/14～3/10 【全8回】)
講師：兪 瑞香氏 (韓国語講師) 受講者：18名

《民間国際交流助成事業》

- ＊助成事業：7団体7事業

《海外事情紹介事業》

- ＊多文化紹介講座
・イギリス、エクアドル、ネパールの紹介 (8/22)
参加者：16名
・中国の紹介 (11/7) 参加者：21名
・トルコ、コートジボワール、フランスの紹介 (2/6)
参加者：17名
- ＊国際交流フェスティバル (元気ハツラツ市) (11/1)
ステージ発表 (ベトナムの踊り、ネパールの紹介)

《国際相互理解事業》

- ＊事業記録写真等の展示
(スイトピアセンターフレンドリーフロアにて)
- ・海外紹介
(海外事情紹介ボランティアによるパネル展示)
- ・協会事業紹介 (事業パネル展示)
- ＊広報事業
・機関誌「フレンドリー」発行 (9月、3月)
・ウェブサイトによる広報 (随時更新中)

【多文化共生推進事業】

《外国人市民支援事業》

＊外国人市民の日本語学習支援

- ・ボランティアによるマンツーマン方式の日本語学習支援
(毎日 (休館日を除く))
学習者数：129名 (2月末現在)
ボランティア数：107名 (2月末現在)
- ・日本語教室 (1期：5～7月 【全10回】、
2期：8～11月 【全10回】、3期：11～2月 【全10回】)
受講者：計57名
- ・にほんごおしゃべりルーム (毎週日曜日)
- ・就学前外国人児童日本語等指導事業
<大垣市受託事業> (12～3月) 参加者：25名

＊外国人市民のための相談窓口の設置

- ・相談窓口 (ポルトガル語、中国語、英語)
- ・行政書士による手続き相談会 (毎月第1日曜日)

＊外国人市民のための行事・講座

- ・外国人市民のための日本文化講座
和服体験 (年11回実施)
浴衣体験 (7/26)
茶道体験 (3/13)
- ・外国人市民のための浴衣着付け体験 (8/20、8/21)
参加者：計32名
- ・外国人のための神輿体験
(十万石まつりへの参加)
(10/11) 参加者：26名



＊ブラジル人等子弟日本語学習支援事業

- ・日本語指導者派遣 (学校法人H I R O学園への派遣)
(毎週火・金曜日)

平成28年度 実施予定事業

【フレンドリーシティ派遣・受入事業】

- ＊大垣市中学生研修派遣(ドイツ、シュツットガルト市)(7月)
- ＊大垣市小中学生研修派遣(オーストラリア、グレンアイラ市)(8月)
- ＊大垣市高校生研修派遣(アメリカ、ピーバートン市・ユージーン市)(10月)
- ＊中国、邯鄲市学生訪問団受入(8月)
- ＊ベルギー、ナミュール市学生訪問団受入(10月)

【地域国際交流事業】

- ＊親子ふれあい異文化交流会(6～12月、毎月1回)
- ＊国際交流フェスティバル<元気ハツラツ市>(11月)

【国際交流ボランティア活動推進事業】

- ＊日本語指導ボランティア講座(5月、10月)
- ＊ボランティアの集い(3月)

【外国語基礎会話講座事業】

- ＊英語基礎会話講座(10月)
- ＊フランス語基礎会話講座(10月)
- ＊韓国語基礎会話講座(1月)
- ＊ドイツ語基礎会話講座(1月)

【海外事情紹介事業】

- ＊多文化紹介講座(8月、1月)
- ＊海外研修派遣団員報告会
(小中学生:11月、高校生:12月)

【民間国際交流助成事業】

- ＊民間国際交流団体助成(随時)

【国際相互理解事業】

- ＊事業記録写真等展示<海外紹介、事業紹介>(随時)
- ＊機関誌「フレンドリー」発行(9月、3月)
- ＊ウェブサイトによる広報(<http://www.i-oiea.jp>)

【多文化共生推進事業(外国人市民支援事業)】

- ＊外国人市民の日本語学習支援
 - ・ボランティアによるマンツーマン方式日本語学習支援(通年)
 - ・にほんごおしゃべりルーム(通年)
 - ・外国人市民の日本語教室(基礎コース・会話コース)
 - ・就学前外国人児童日本語等指導事業<大垣市受託事業>(1～3月)
- ＊相談窓口
 - ・相談窓口<ポルトガル語、中国語、英語>(通年)
 - ・行政書士による行政手続き相談会(毎月第1日曜日)
 - ・ポルトガル語によるこころの相談会(毎月第2日曜日)
- ＊外国人市民のための日本文化講座(通年)
- ＊外国人市民のための浴衣着付け体験(8月)
- ＊外国人市民のためのお神輿体験(10月)
- ＊ブラジル人等子弟日本語学習支援事業
 - ・日本語指導者派遣(通年)

イ ン フ ォ ー ム シ ョ ン

<ボランティア募集>

公益財団法人大垣国際交流協会(OIEA)では、ホームステイ、日本文化紹介、通訳・翻訳、日本語指導、企画・運営などの各ボランティアを随時募集しております。

<賛助会員募集>

OIEAでは国際交流に関心のある方、又OIEAの設立趣旨や活動をご理解のうえ、支援していただける賛助会員制度を設けています。個人会員と団体(法人)会員があり、ご賛同いただける方を広く募集しています。
年会費(1口)は、個人会員:3,000円、団体会員:10,000円です。詳しくは、下記までお問い合わせください。

【みなさまからの情報をお待ちしております】 個人や団体などの国際交流活動、海外での異文化体験などの情報等ありましたら、事務局までお知らせください。また、ご意見、ご感想などありましたら、併せてお寄せください。

編集後記

アメリカと、しばらく途絶えていたフレンドリーシティの交流が、オレゴン州の2都市と実現しましたので、両都市の紹介を特集しました。それを記念して、82号はカラー刷りで発行いたしました。
平成28年度には、2都市に高校生を対象とした、訪問団の派遣が予定されていますので、期待されるところです。次世代を担う若者に、フレンドリーな世界が訪れることを願っています。

大垣市内在住外国人の国籍別人数表

総数:4,305人(9月号との比較 140人) ※平成28年2月末現在

	人数	9月号との比較		人数	9月号との比較		人数	9月号との比較
ブラジル	1,886	107	マレーシア	9	2	イラン	1	0
中国	1,167	-11	ミャンマー	8	5	コートジボワール	1	0
韓国又は朝鮮	350	-7	パキスタン	8	1	メキシコ	1	-9
フィリピン	340	0	カナダ	6	0	オランダ	1	-1
ペルー	161	5	エジプト	6	1	パラグアイ	1	-1
ベトナム	93	16	インド	5	-2	ルーマニア	1	0
ネパール	58	18	ボリビア	4	0	ロシア	1	0
アメリカ	35	-5	ドミニカ共和国	4	0	スウェーデン	1	0
カンボジア	27	15	コロンビア	3	0	トルコ	1	0
インドネシア	25	3	イタリア	3	0	ウクライナ	1	0
タイ	19	-12	ラオス	3	-1	カメルーン	1	1
バングラデシュ	17	3	アルゼンチン	2	0	無国籍	5	2
フランス	12	10	オーストラリア	2	-1	チリ	0	-1
スリランカ	12	-1	モンゴル	2	0	総人口に占める割合	2.7%	
イギリス	10	1	モルドバ	2	0			
台湾	9	2	ドイツ	1	0			



フレンドリー No.82

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階

TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314

<http://www.i-oiea.jp/> [E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp

発行／2016年3月

印刷／サンメッセ株式会社